



埼玉  
県立

# 小児医療センターだより

## 小児救命救急センター紹介

～小児救急最後の砦～



うえた いくや  
小児救命救急センター センター長 植田 育也

いつも患者さんのご紹介をありがとうございます。小児救命救急センター長の植田育也と申します。ここでは、「小児救急最後の砦」である小児救命救急センターの活動についてご紹介いたします。

小児救命救急センターとは、疾病・外傷を問わず地域の小児の重篤な救急患者さんを24時間・365日いつでも受け入れ、救命治療を行う施設のことです。当センターには平成28年の新病院移転の際に開設され、翌年に厚生労働省より事業指定されました。令和5年現在、同様な施設が全国19箇所の病院で運営されています。

当センターの小児救命救急センターは、救急診療科・集中治療科・外傷診療科という3つの診療科と、小児集中治療室(PICU;14床)・準集中治療室(HCU;20床)・救急外来(ER;24時間稼働)という病棟・外来の看護単位により構成されています。近年はPICU・HCUへの入室が年間延べ2,500名超、ERへの救急車受け入れが年間3,000台ほどの状況です。

地域の医療機関の皆さんへのお願いが3点あります。

生命の危機にある重篤な状態の救急患者さんを診療されている場合は、PICUまでご連絡いただければ、24時間いつでもドクターカーを使った依頼元医療機関への迎え搬送も含めて対応いたします。

また、救急患者さんで重症度としてはそれほど高くないが、詳しい診察や入院加療が必要な場合は、病院代表電話にご連絡いただければER担当医師が対応いたします。

なお、既に診断がついており、状態が安定している場合は、平日の日中であれば従来通り当センターの各診療科へご相談ください。

小児救命救急センターは今年で開設7年目を迎えております。センターの立ち上げから始まり、少子化の進行や新型コロナウィルス感染症のパンデミックを地域の医療機関の皆さんにご協力いただきながら乗り越えて参りました。たくさんの患者さんをご紹介いただき、救命治療の結果、状態が改善したならば地域の医療機関にお返しし、地域でのフォローアップを継続していただく中で、次第に皆さんと「顔の見える関係」が醸成されてきているのではないかと思います。その間常に、24時間・365日いつでもスムーズな受け入れができるよう努力して参りましたが、時には災害的な病床逼迫に見舞われることもあり、その時々の対応に不備を来たした点があるかもしれません。もしそのようなことがあれば、いつでも私までご連絡いただければ幸いです。

今後も地域の医療機関の皆さんと緊密な連携を取りながら、患者さんを中心とした、より良い急性期高度医療をスタッフ一同、チームで提供して参ります。

また小児救命救急センターでは、小児の救命救急・集中治療の研鑽を積みたい医師を募集しています。随時、見学・相談が可能です。興味のある方は、同様に私までご連絡ください。

埼玉県立小児医療センター 小児救命救急センター長 植田育也  
E-mail : ueta.ikuya@saitama-pho.jp

### 埼玉県立小児医療センターだより 第27号 ご案内

- 小児救命救急センター長あいさつ ..... 1
- 診療部門紹介 精神科 ..... 2
- 診療部門紹介 眼科 ..... 3
- 看護部門紹介 9A病棟 ..... 4
- コ・メディカル部門紹介 ソーシャルワーカー ..... 5
- 外来呼び出し方法の変更 ..... 6
- セミナー・講演会等のご案内 ..... 6
- 医療機関の皆様へ 受診のご案内 ..... 6
- 病院へのアクセス ..... 6



## 診療部門紹介

## 精神科

科長 舟橋 敬一  
ふなはし けいいち

日頃より当科の診療に関してご理解いただきありがとうございます。社会一般のメンタルヘルスへの理解が進むにしたがって、精神科受診への敷居が下がってきていることを感じます。ご期待に沿えるよう努力を続けてまいりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

## ○診療内容

当診療科では中学校入学前のお子さんのかころの問題に対応しております。かころの問題といつても症状の現れ方はさまざま、抑うつや不安などの感情の問題、他人への暴力や自傷などの行動の問題、慢性的な頭痛や腹痛などの身体症状、人間関係や学習の問題による学校適応の困難などがあります。当センターで拝見している多くの方では、偏りのある発達特性によって、生育してきた生活環境の影響によって、あるいは、過去の恐ろしい体験の影響による心因反応としてこれらの症状が起こっています。慢性的な疾患がストレス因となって精神的な影響がみられる場合もあり、時に当センター他科に通院中や入院中のお子さんも対象になります。

受診いただいたてからの流れとしては、まず評価、それから介入となります。お子さんや保護者との面接や心理検査、生理学的検査から、症状の成り立ちを理解して診断し、必要な対応を考えていくことが評価となります。ご本人はもちろん、ご家族の生い立ちや生活、思いを細かく伺うことも多いかと思いますが、子どものかころの症状はそれらと無関係ではないからです。発達を含めて心理検査が必要であれば臨床心理士に、言語発達と学習の評価なら言語聴覚士、協調運動の評価なら作業療法士にお願いしております。

介入方法は、環境調整と心理療法、薬物療法などですが、特別な心理療法が必要な場合は臨床心理士が担当しています。神経発達障害群（自閉症スペクトラム障害、注意欠如・多動性障害、限局性学習障害、発達性協調運動障害）に関する療育や訓練は行っておりません。また、生活環境が影響を与えていたる場合など、地域の他機関との連携をとって介入を進めることも少なくありません。今後ともご指導をお願いする次第です。

## ○対象疾患

精神科としての入院病床を持たないため、外来で対応可能なかころの問題が対象となります。神経発達障害群、強い不安や抑うつ、ストレス反応、心理的要因が関与すると考えられる身体症状、それらを背景とする行動の問題などです。ただ、ご自宅で対応困難な著しい自傷や他害があったり、切迫する希死念慮がみられたり、あるいは臓器障害を起こすおそれがあるレベルの摂食障害に関しては入院加療が適切であり、当科の範囲を超えていたと考えております。





## 診療部門紹介



# 眼科

科長 神部 ともか  
かんべ ともか

### ○診療内容

眼科では、小児眼科一般について広く診断治療を行っています。疾患内容では、屈折異常弱視、斜視が半数以上を占めています。子どもの視機能は視覚感受性期とよばれる8歳ごろまでの間に発達します。視力の発達が妨げられている弱視に対して、眼科医、視能訓練士が協力して、屈折矯正や健眼遮閉といった弱視治療を行っています。

小眼球・無眼球に対する義眼外来や、視覚障害児への支援体制として、埼玉県立特別支援学校境保己一学園（県立盲学校）教諭による盲児教育相談を設けています。

多領域にわたる疾患や症候群では、小児病院の特性を生かして複数科と連携しながら治療にあたります。

手術は、斜視、内反症などの外眼手術、白内障などを中心に行っています。涙道内視鏡を導入し、様々なタイプの涙道閉塞に対応しています。

未熟児網膜症に対して抗VEGF硝子体注射、レーザー治療を行っています。

### ○対象疾患

斜視、弱視、全身疾患に伴う眼科疾患、先天眼瞼下垂、内反症、涙道閉塞、眼瞼腫瘍、未熟児網膜症、先天眼振、白内障、角膜疾患、ぶどう膜疾患、網膜視神経疾患、緑内障など。

白色瞳孔など緊急性の高い所見につきましては、早期対応が必要になるため地域連携・相談支援センターへご紹介くださいますようお願い申し上げます。

引き続き症例をご紹介いただきたくどうぞよろしくお願ひいたします。

### ○診療実績

2022年度手術件数は下表のとおりです。

手術の内訳（2022年度）

	症例数
外斜視	82
内斜視	18
その他の斜視	12
内反症	58
涙道閉塞	20
涙小管断裂	1
霰粒腫	14
デルモイド	1
結膜腫瘍	2
前房水採取	1
眼球摘出術	2
白内障	18
後発白内障	2
緑内障	4
網膜光凝固術	1
全麻下検査	1
未熟児網膜症に対する抗VEGF治療	8
黄斑浮腫に対する抗VEGF治療	2
計	247



スタッフ一同





## 看護部門紹介



# 9 A 病棟

はせべ  
師長 長谷部 みちこ  
美知子

9A病棟は、外科・泌尿器科・移植外科・整形外科・歯科を主な診療科としております。

2021年度より入退院支援センターが当センター2階に設置されたことによって、主科以外の診療科の受入れも積極的に行い、効率的な病床運営をしております。

9A病棟に入院してくるお子さんの多くは、手術を目的としております。そのため入院時から、安全に手術や検査・処置が受けられるよう、病床環境の整備や感染予防対策を行い、お子さんとご家族が安心して入院生活を過ごせるよう支援させて頂いております。

また、少しでもお子さんがホッと楽しめることを目的に四季折々の行事を考え、病棟保育士と共に企画し取り組んでおります。



ベッドサイドにて危険予知トレーニング実施の様子です。スタッフのリスク感性を養います！！

WOC回診の様子です。皮膚科医師、皮膚・排泄ケア認定看護師と共に、お子さんの皮膚トラブルについて、対応しております。



少人数制でのお祭りを開催♪  
懐かしの手作り射的です🎯

七夕に願いを込めました😊

優しい保育士さんと共に  
手をつないで病棟散歩👧👦



## コ・メディカル部門紹介

# ソーシャルワーカー (地域連携・相談支援センター)



主査

しのざき  
篠崎さきこ  
咲子

ソーシャルワーカーは患者さんやご家族の悩みや不安、困り事をうかがい、その解決のために必要な支援を提供いたします。

当センターでは、地域連携・相談支援センターに所属し、常勤4名・非常勤4名の8名体制でご相談をうかがっております。病院内の各職種との連携はもちろん、ご相談内容に応じて地域の医療機関、行政機関、教育機関等との連携も大切にし、患者さんやご家族が安心して当たり前の生活を過ごすことができるよう、日々、努力しています。

### こんな相談をお受けします

- ・医療費って高くなるの？
- ・何か使える制度はある？
- ・保育園、幼稚園、学校のこと、どうしたらいいの？
- ・障害者手帳って何ができるの？
- ・福祉用具について知りたい
- ・急に病気と言われても心の整理がつかない…
- ・訪問診療って受けられる？
- ・入院中の仕事をどうしよう？
- ・きょうだいをどうしよう？
- ・子育てが不安…

その他、ご家庭のこと、療養生活に関すること、まずは何でもお話を聞かせてください。

- \*相談費用は無料です。
- \*相談内容の秘密は厳守します。
- \*お電話での相談も可能です。

相談時間：平日8:45～17:00

相談方法：お電話または直接相談窓口へ  
お声かけください。連絡先：病院代表番号に連絡し  
「相談支援センターに」とお伝えください。

場所：2階6番窓口



### 相談室裏の情報コーナー

病気に関する資料、社会福祉資源（経済的支援・家族宿泊施設・ウィッグ等）、各種イベント情報、小児がん関係、医療的ケアについて、将来のお金についてなどさまざまな情報を提供しています。

一部書籍は貸し出し可能です。ぜひご利用ください。



### その他の機能

#### 移行期医療支援センター

大人の病院への移行をお手伝いいたします。  
必要な準備や移行先医療機関のご紹介、連絡調整を行います。

#### 小児がん相談支援センター

小児がん拠点病院の相談支援センターとして、  
小児がんの患者さんとご家族の療養生活に関わる  
様々なご相談をうかがいます。

## お知らせ

### 患者さん呼び出し方法の変更について

令和5年10月10日(火)より、これまでの「呼出受信機」から、「LINEアプリケーション」を使用した患者さん呼び出しシステムの運用に変更いたします。

ご利用に当たってはLINE友達登録が必要となります。ご登録いただくと予約・受付情報、呼び出し状況を確認いただけます。

詳細は当センターHPをご確認ください。

### セミナー・講演会等のご案内

#### 医療関係者向け

- 11月2日(木) 感染免疫・アレルギー科診療連携カンファレンス
- 11月16日(木) 第153回埼玉小児疾患集談会
- 令和6年2月8日(木) 第9回地域連携懇談会
- 3月14日(木) 第154回埼玉小児疾患集談会(特別講演)

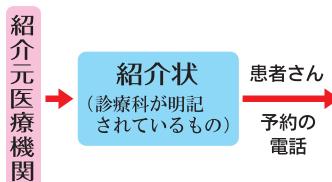
#### 一般の方向け

- 11月4日(土) 第4回移行期医療支援セミナー
- 11月11日(土) 県民のための医療セミナー
- 11月25日(土) 第33回てんかん教室

詳細は当センターHPをご確認ください。

## 医療機関の皆様へ 受診のご案内

### ①患者さん(ご家族)からの予約



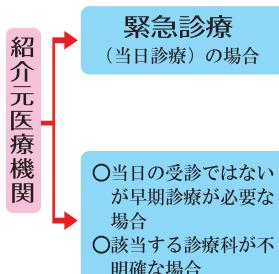
#### 予約専用電話

初診受付時間 14:00～17:00(土日祝日除く)  
再診受付時間 9:00～17:00(土日祝日除く)  
一般外来 ☎048-601-0489  
保健発達部門 ☎048-601-2165

#### 受診当日にお持ちいただくもの

- ①保険証
- ②医師の紹介状
- ③母子健康手帳
- ④医療券  
(公費負担を受けている方)

### ②医療機関の先生からの予約・お問い合わせ



電話交換手へ 緊急性があることをお伝えください  
(365日24時間対応可能)

小児医療センター 代表電話  
☎048-601-2200

電話交換手へ 相談内容をお伝えください  
受付時間(9:00～17:00/土日祝日除く)

診療科が明確な場合はその「該当する診療科医師」へおつなぎしますのでご相談下さい

休日・夜間又は、診療科が不明確な場合は「救急診療科医師」へおつなぎしますのでご相談ください

「地域連携室」が対応します  
現在の症状が分かる診療情報提供書をFAXでお送り下さい  
調整後、ご連絡します  
FAX番号:048-601-2237

## 病院へのアクセス



### ■公共交通機関をご利用の方

- JR京浜東北線、宇都宮線、高崎線「さいたま新都心駅」から徒歩約5分
- JR埼京線「北与野駅」から徒歩約6分  
※歩行者用デッキを点線に沿ってお進みください。

### ■お車をご利用の方

- 駐車場は有料になります。
- 機械式駐車場には車両のサイズの制限があります。  
ご利用の時間帯によっては、車両が集中し、入庫まで大変お時間がかかることが予想されます。  
できるだけ、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

小児医療センターだより第27号  
令和5年10月発行

編集・発行 埼玉県立小児医療センター  
企画担当



## 埼玉県立小児医療センター

〒330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心1番地2

Tel ☎048-601-2200 (代表) Fax ☎048-601-2201

E-mail ▶scmc@saitama-pho.jp

URL ▶<https://www.saitama-pho.jp/scm-c/index.html>



センター敷地内は全面禁煙となっておりますので、ご協力をお願いいたします。

埼玉県マスコット  
「コパトン」

埼玉県立小児医療センター